

<b>Course number</b>		U-LAS20 10001 SB48					
<b>Course title (and course title in English)</b>		英語リーディング ER43 1T2 English Reading		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, KATSURAYAMA KOHJI	
<b>Group</b>	Languages		<b>Field(Classification)</b>				
<b>Language of instruction</b>	Japanese		<b>Old group</b>	Group C		<b>Number of credits</b>	2
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	
<b>Days and periods</b>	Tue.2		<b>Target year</b>	1st year students		<b>Eligible students</b>	For all majors
<b>[Areas of skills]</b>							
Academic Reading							
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>欧米の標準的な知識人がどの程度の教養をもち、どのような英文を読み書きしているのかを知ることを通じて、アカデミックイングリッシュの特質を習得することを目的とする。受験で英語の習得は終わったのではなく、ようやくスタート地点についたにすぎないということを実感し、眼前に広がる学問世界に親しむためにこれからどのような努力が求められているのかを理解することを目指す。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
<p>言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ、言語表現に対する感性を鍛錬する。同時に、異文化理解を通じて、人間理解を深めることを目指す。</p>							
<b>[Course schedule and contents]</b>							
<p>アメリカの女流生物学者・ネイチャーライター・環境保護運動家であるレイチェル・カーソン（1907-64）の古典的著作『沈黙の春』を読む。自然破壊を告発した本書は、同時に、自然の驚異を科学の目で感受性豊かに描いたものでもある。単に運用力強化に資するばかりでなく、言語表現の奥行きをも実感できるように、自然で、味わい深い言い回しをじっくりと味読したい。</p> <p>第1回：導入。</p> <p>第2～13回：『沈黙の春』の講読。毎回、1～4頁、読み進める予定。</p> <p>第14回：アカデミックリーディングの特質についてのまとめ。</p> <p>第15回：フィードバックの実施。</p>							
<b>[Course requirements]</b>							
Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".							
<b>[Evaluation methods and policy]</b>							
<p>5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。</p> <p>理解度確認のための期末等筆記試験の成績を中心として(80%)、それに授業への積極的な参加等の日常の活動を加味して(20%)、評価する。</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to 英語リーディング ER43(2)</div>							

## 英語リーディング ER43(2)

### [Textbooks]

Rachel Carson 『Silent Spring Vol. 1』 (英宝社) ISBN:9784269180420

### [References, etc.]

(References, etc.)

京都大学英語学術語彙研究グループ他 『京大・学術語彙データベース基本英単語 1 1 1 0』 (研究社) ISBN:9784327452216

### [Study outside of class (preparation and review)]

とりわけ、緻密な予習が肝要であることは言うまでもない。最も重要なことは、自らの読みを、理解が不十分であるということも含めて、前もってしっかり確認、意識して授業に臨むことである。

### [Other information (office hours, etc.)]

当然のことながら、毎回、出席すること。